

デジタルトランスフォーメーション（DX）研修 研修概要のご案内

■本研修の内容

（1）パターン発想の意義について：

データ利活用の事例は昨今たくさんあります。ただ、いくら事例をたくさん見ても、それだけでは自分のビジネスにおける活用は思いつかないものです。事例で示されるのはそのビジネス、その状況での非常に具体的な話であって、自分のビジネスとは異なりますので、何を参考にすればいいのかわかりません。

一方で、あまり抽象化しすぎると、一般論になってしまいます。例えば、「この事例はビジネス上の問題をセンサーの技術で解決している例だ」と言われても何の着想の役にも立たないでしょう。「データの流れや活用の目的となる KGI は同じだが、使うデータの種類や KPI は異なる」といったように、適度に同じところと違うところが混在する抽象度が着想の役に立つといえます。

（2）パターン発想の概念

下記の図は、ビル火災の消火における課題解決方法の事例を、全く違う事象(ここではがんに対する放射線治療)に応用するために、適度な粒度で抽象化（パターン化）し解決策を着想した例です。

事例の適度な抽象化（パターン化）を如何に行うかが、課題への解決策の着想には重要といえます。

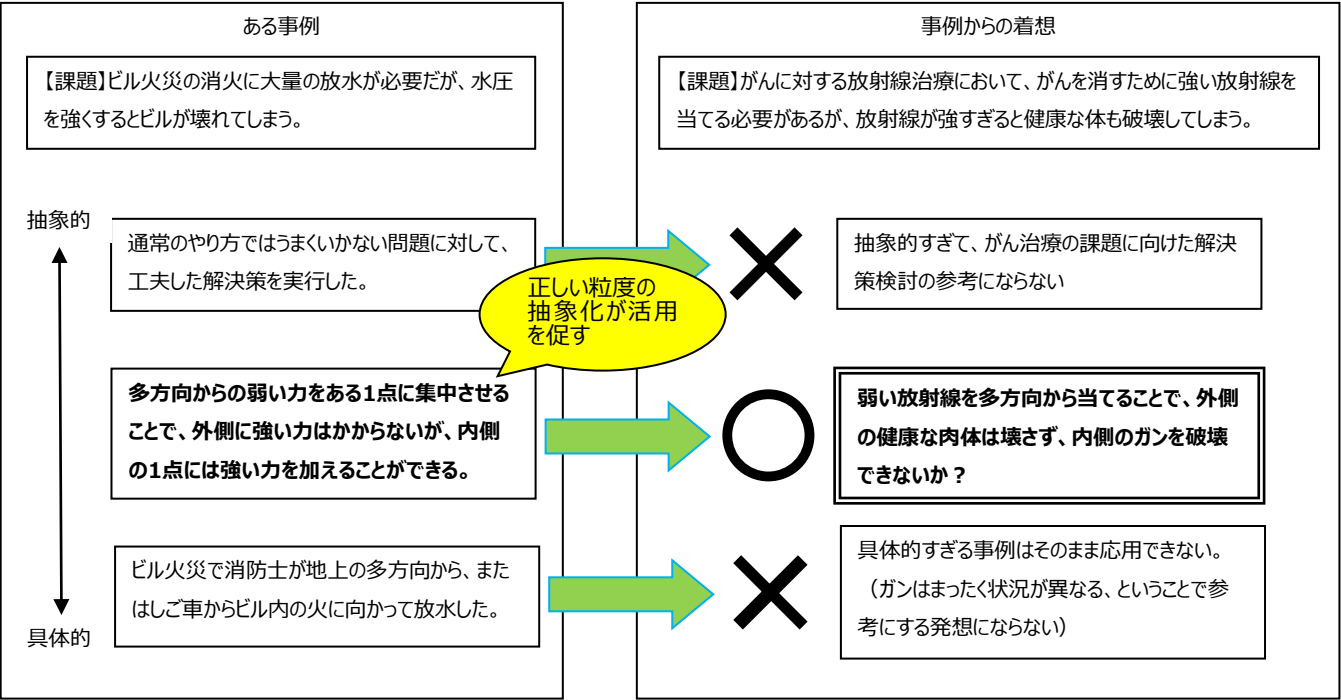


図1 事例の適度な粒度での抽象化（パターン化）による、別課題の解決策への着想例

(3) パターン発想トレーニングの内容

本コースでは、データ利活用のための具体的な例とそれらを抽象化・整理したパターンを交互に見ることで、自らのビジネスに置き換えたデータ利活用のアイデア着想をトレーニングします。

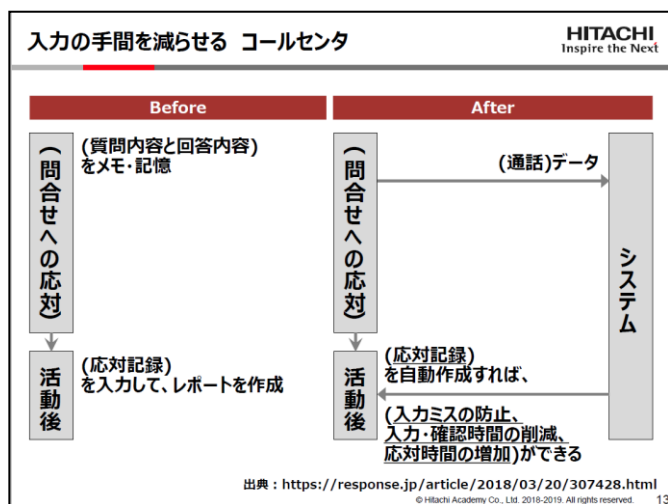
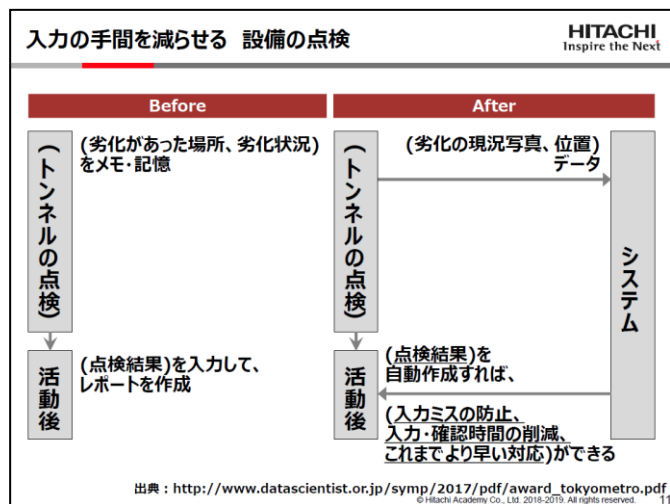
(なお、本コースでは9つのパターンを扱いますが、すべてがこれらに分類されるわけではなく、また各事例で行うパターン化が唯一の抽象的な解釈ということではございません。本コースの学習により着想や別のパターン化を考えるきっかけとしてご活用願います。)

【学習イメージ】パターン「入力の手間を減らせる」に関する発想トレーニング（グループワーク）

事例を講師がご紹介したあと、抽象化されたパターンにおいてデータ利活用のアイデアを、まずはご自身のビジネスシーンでの適用を考え、次にグループ共有にてディスカッション、最後に発表をしていただきます。講師からはビジネス着想に向けたヒントをお伝えしつつ、研修の最後では実務に向けた価値検証の考え方についても学習します。

設備点検における入力の手間を無くした事例
(某鉄道会社の事例)

コールセンター業務に適用した事例
(左図の()内の文言を変える)

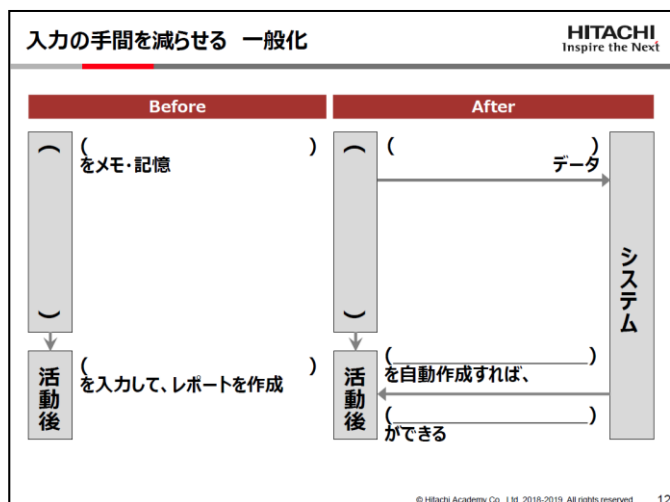


(受講者)

ご自身の業務、お客様の業務などで
どんなデータを使えば自動化や効率化、短期間化などの
価値を生み出せるか考えてみましょう



新たなサービス、システム化企画に向けたアイデアへ



(4) カリキュラムとタイムスケジュール：

時間	内容	備考
13:00～16:00	<p>「データ利活用のパターンとビジネス着想」研修 (講師 株式会社日立アカデミー)</p> <p>1.はじめに 2.パターン発想ミニワーク (1)入力の手間を無くせる (2)行かなくても確認できる (3)判断を肩代わりする (4)未然に防げる (5)改善のサイクルが素早く回る (6)最適配分してくれる (7)問題と解決策を引き合わせる (8)利害が一致する (9)タイムリーにコンタクトできる 3.そして実務へ</p>	<p>世の中にあふれている IoT の事例を見ているだけでは、自分のビジネスにおける活用は思いつきません。事例で示されるのはそのビジネス、その状況での非常に具体的な話であるため、適度に同じところと違うところが混在する抽象化が着想には必要となります。本コースでは、データ利活用を 9 パターンに抽象化し、具体的な利活用例とそれらを抽象化・整理したパターンを交互に見ることで、自らのビジネスに置き換えたデータ利活用のアイデア着想ができます。</p>
16:00～17:00	<p>「データが新たな価値を生む DX 事例のご紹介」 株式会社オーイーシー デジタルトランスフォーメーション推進室 DX 推進グループ DX プロデューサー 坂本 将幸様による事例紹介および質疑応答 形式のディスカッション</p>	<p>同社では DX を積極的に推進し、AI, IoT、ドローン等最新技術を活用したさまざまな実績をあげています。いくつかの取り組み事例をご紹介いただき、本研修への理解を深めていただきます。</p>